

# 小規模企業の景況

(令和2年10～12月期)

大阪商工会議所による小規模企業の景況調査(四半期毎)令和2年10～12月期の結果概要は以下の通り。今期(令和2年10～12月期、調査基準日:11月15日)の業況DI値は、▲47.3(前回調査から15.1ポイント改善)、売上額DI値は▲53.8(前回調査から11.7ポイント改善)となり、いずれも2期連続で上昇、引き続き持ち直しの動きがみられた。また従業員過不足DI値は▲7.2となり、2期連続で中小企業の人手不足感が強まった。業種別では製造業が2.6、卸売業が▲9.0、小売業が▲9.0、サービス業が▲13.4となった。

「経営上の問題点」では製造業、卸売業、小売業で「需要の停滞」が引き続き第1位となったほか、サービス業では、「利用者ニーズの変化への対応」が第1位となった。

## 1. 今期(令和2年10～12月期)の状況

**【売上額】**今期(令和2年10～12月期)の売上額DI値(全産業)は、前回調査(令和2年7～9月期)の(▲65.5)から11.7ポイント改善し、▲53.8となった。業種別では前回調査から、製造業が6.2ポイント、卸売業が13.4ポイント、小売業が14.5ポイント、サービス業が13.4ポイントそれぞれ改善した。

**【資金繰り】**今期の資金繰りDI値(全産業)は、前回調査(▲29.3)から6.0ポイント改善し、▲23.3となった。業種別では前回調査から、サービス業が横ばい、製造業が5.7ポイント、卸売業が7.5ポイント、小売業が12.5ポイントそれぞれ改善した。

**【業況】**今期の業況DI値(全産業)は、前回調査(▲62.4)から15.1ポイント改善し、▲47.3となった。業種別では前回調査から、製造業が12.7ポイント、卸売業が17.9ポイント、小売業が14.5ポイント、サービス業が15.9ポイントそれぞれ改善した。

**【従業員】**今期の従業員DI値(全産業)は、▲7.2(前回調査▲3.4、今期▲3.8ポイント)となった。前回調査との業種別の推移は、サービス業が横ばい、製造業が▲4.1ポイント、卸売業が▲7.5ポイント、小売業が▲4.5ポイントとなった。

## 2. 来期(令和3年1～3月期)の予想

来期(令和3年1～3月期)の全産業の予想DI値は、売上額▲38.4、資金繰り▲23.3、業況▲33.6となった。

## 3. 経営上の問題点

第1位は、製造業・卸売業・小売業が「需要の停滞」、サービス業が「利用者ニーズの変化への対応」となった。

※DI値とは……ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、本調査では前年同期(令和元年10月～12月期)と比較して売上額、業況、資金繰りなどが「増加」「好転」したなどとする企業割合から、「減少」「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

## 【調査の概要】

- ・調査名:第162回中小企業景況調査(中小企業庁・中小企業基盤整備機構)
- ・調査時期:令和2年11月2日～11月15日(前回:令和2年8月21日～9月1日)
- ・調査方法:経営指導員による、調査票に基づく聴取り調査
- ・調査対象:大阪市内の中小企業・小規模事業者
  - ※ 全国7,918件中、大阪商工会議所分324件。
  - ※ 本紙では、大阪商工会議所分のうちとくに小規模事業者(従業員:製造業20人以下、商業・サービス業5人以下)290件について取りまとめた。  
[製造業75件、卸売業67件、小売業66件、サービス業82件]

## ■DI値推移(全産業)

	159回調査	160回調査	161回調査 (前回)		162回調査 (今回)	
	R2(2020年) 1～3月期	R2(2020年) 4～6月期	R2(2020年) 7～9月期	R2(2020年) 10～12月期	R2(2020年) 10～12月期	R3(2021年) 1～3月期
売上額(増-減)	-33.2	-76.9	-65.5	-62.8	-53.8	-38.4
資金繰り(好-悪)	-22.1	-49.3	-29.3	-34.8	-23.3	-23.3
業況(好-悪)	-32.9	-75.5	-62.4	-57.6	-47.3	-33.6
従業員(過-不)	-13.8	-1.4	-3.4		-7.2	

## ■経営上の問題点

順位	製造業	件数	卸売業	件数	小売業	件数	サービス業	件数
1位	需要の停滞 →	36 (35)	需要の停滞 →	29 (33)	需要の停滞 →	12 (14)	利用者ニーズ の変化への対応 ↑	17 (10)
2位	製品ニーズの 変化への対応 ↑ 生産設備の不 足・老朽化 ↑	7 (6) 7 (5)	販売単価の低 下・上昇難 ↑	6 (3)	消費者ニーズの 変化への対応 ↓ 大型店・中型店の 進出による競争 の激化 ↑	10 (14) 10 (7)	需要の停滞 →	16 (13)
3位			小売業の進出 による競争の 激化 ↑ 人件費以外の 経費の増加 ↑	4 (2) 4 (1)			その他(コロナウ イルスによる受注 減) ↓	13 (24)

[注] ( )内は前回(令和2年7～9月期)調査結果

↑=前回より高順位

→=前回と同順位

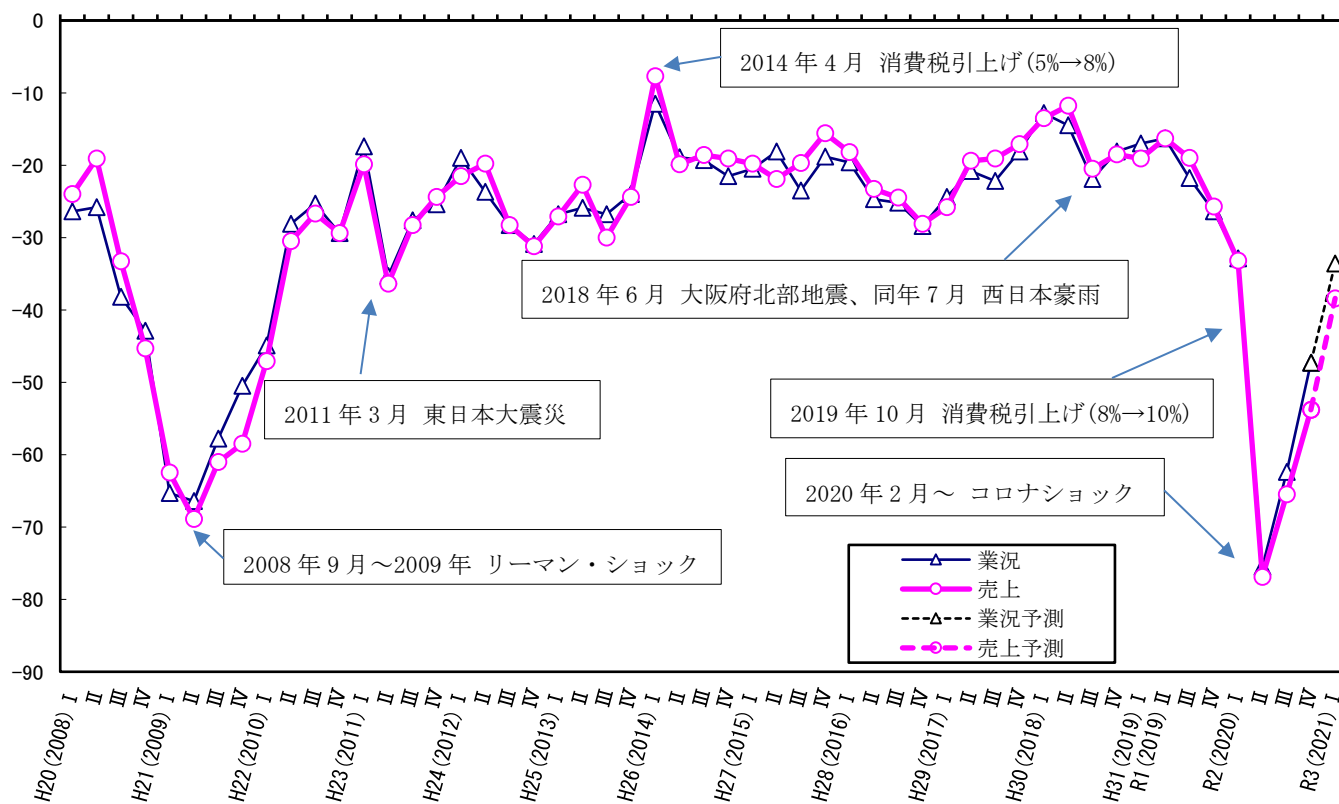
↓=前回より低順位

■ 状況比較表（業種別）

項目	業種	今期の状況(10～12月期)				前回(7～9月期)からの推移	来期の予想(1～3月期)			
		増加	不変	減少	増一減		増加	不変	減少	増一減
売上額		9.2	19.7	71.1	▲ 61.8	6.2	10.5	31.6	57.9	▲ 47.4
	製造業	9.0	20.9	70.1	▲ 61.2	13.4	17.9	25.4	56.7	▲ 38.8
	卸売業	10.4	20.9	68.7	▲ 58.2	14.5	17.9	29.9	52.2	▲ 34.3
	サービス業	14.6	34.1	51.2	▲ 36.6	13.4	11.0	45.1	43.9	▲ 32.9
	合計	11.0	24.3	64.7	▲ 53.8	11.7	14.0	33.6	52.4	▲ 38.4
	前回	9.3	15.9	74.8	▲ 65.5		9.3	18.3	72.1	▲ 62.8
資金繰り		好転	不変	悪化	好一悪		好転	不変	悪化	好一悪
	製造業	5.3	64.5	30.3	▲ 25.0	5.7	7.9	60.5	31.6	▲ 23.7
	卸売業	9.0	61.2	29.9	▲ 20.9	7.5	7.5	67.2	25.4	▲ 17.9
	小売業	6.0	58.2	35.8	▲ 29.9	12.5	7.5	53.7	38.8	▲ 31.3
	サービス業	9.8	57.3	28.0	▲ 18.3	0.0	4.9	64.6	25.6	▲ 20.7
	合計	7.5	60.3	30.8	▲ 23.3	6.0	6.8	61.6	30.1	▲ 23.3
前回	8.3	53.4	37.6	▲ 29.3		5.5	51.7	40.3	▲ 34.8	
業況		好転	不変	悪化	好一悪		好転	不変	悪化	好一悪
	製造業	5.3	34.2	60.5	▲ 55.3	12.7	10.5	35.5	50.0	▲ 39.5
	卸売業	7.5	32.8	59.7	▲ 52.2	17.9	10.4	40.3	43.3	▲ 32.8
	小売業	7.5	32.8	59.7	▲ 52.2	14.5	11.9	38.8	47.8	▲ 35.8
	サービス業	13.4	41.5	45.1	▲ 31.7	15.9	12.2	47.6	39.0	▲ 26.8
	合計	8.6	35.6	55.8	▲ 47.3	15.1	11.3	40.8	44.9	▲ 33.6
前回	6.2	24.5	68.6	▲ 62.4		6.2	26.9	63.8	▲ 57.6	
従業員		過剰	適正	不足	過一不					
	製造業	13.2	73.7	10.5	2.6	▲ 4.1				
	卸売業	4.5	79.1	13.4	▲ 9.0	▲ 7.5				
	小売業	1.5	71.6	10.4	▲ 9.0	▲ 4.5				
	サービス業	6.1	69.5	19.5	▲ 13.4	0.0				
	合計	6.5	73.3	13.7	▲ 7.2	▲ 3.8				
前回	7.9	74.1	11.4	▲ 3.4						

「今期の状況（除従業員）」は令和2年10～12月期状況であり、前年同期の令和元年10～12月期との比較。来期の予想は令和3年1～3月期予想であり、令和3年1～3月期との比較である。「前回」欄は令和2年7～9月期調査の数字。従業員は、過去との比較ではなく、業務量に照らした過不足。

■景況グラフ（売上額・業況）



※表示値＝D I（増加・好転－減少・悪化）値

※ I 期=1-3月、II 期=4-6月、III 期=7-9月、IV 期=10-12月

※令和3年 I 予想値